

令和2年第1回教育委員会会議録

日 時	令和2年1月29日（水）13時30分開会 15時30分閉会
場 所	教育長室
出席委員	教育長 佐々木 智 委員 佐々木 義朗 委員 荒井 由紀恵 委員 橋場 正人子 委員 吉村 恭子
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 澤田 徹彦 教育部次長 千田 義彦 教育部学校指導室長 小松 義幸 企画総務課長 伊藤 樹美 学校教育課長 高橋 裕輔 埋蔵文化財センター長 粥川 治彦 学校指導課長 大西 智彦
書 記	企画総務課総務係長 田中 稔大
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

1 第1回教育委員会会議付議事件及び結果表

令和2年1月29日（水）13時30分開会
15時30分閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	令和元年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について	原案可決
議案第2号	千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案可決
議案第3号	千歳市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第4号	令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について	原案可決
報告第1号	令和元年度千歳市学力向上検討委員会の取組について	報告済

2 議題及び会議の概要

教育長	<p>それでは、令和2年第1回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>まずはじめに、議案第2号についてですが、人事に関する議事であるため、秘密会にしたいと考えますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	一同了承
教育長	日程2 会議録の承認について、お願いします。
総務係長	<p>令和元年12月23日に開催されました令和元年第13回教育委員会会議は、議案が5件、報告が3件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 教育委員会職員の任免について、議案第2号 千歳市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について、議案第3号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法等について、議案第4号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について、議案第5号 北陽小学校分離新設校の学校名の決定について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>また、報告につきましては、報告第1号 令和2年千歳市成人式「はたちのつどい」について、報告第2号 令和元年度におけるいじめの把握のための調査（道調査第1回）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査第1回）結果について、報告第3号 令和2年度千歳市教育予算要望について、報告済みとさせていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。
委員	一同了承
教育長	<p>続きまして、日程3 教育長の報告です。</p> <p>お手元に資料があると思います。校長会、教頭会でお話しさせていただいた事項等について、報告させていただきます。</p> <p>（資料に沿って、次の内容について説明）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「学習規律の定着100%」「指導が立ち行かない学級0」を目指して（本年度重点取組事項） 2. 学力向上の取組の推進・新年度計画の策定について 3. 冬季スポーツをはじめ、校外活動の指導における安全確保について 4. 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について 5. 学校給食費収納業務への協力について

委員	<p>その他連絡事項は、記載のとおりです。</p> <p>私からの報告は以上となります。これについて、何かご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>一同了承</p>
教育長	<p>それでは、日程4 議案に入ります。</p> <p>議案第1号 令和元年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第1号 令和元年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、ご説明申し上げます。</p> <p>提案理由であります。令和2年千歳市議会第1回定例会において、予算を補正するため、本案を提出するものでございます。</p> <p>はじめに企画総務課分です。1点目の寄附金 奨学金についてであります。</p> <p>補正項目は、歳入につきましては、18款1項1目1節の寄附金に82,408千円を追加し、歳出につきましては、10款1項1目25節の積立金に82,408千円を追加するものでございます。</p> <p>補正の理由につきましては、寄附採納があったことから、奨学基金に充当するため関係する歳入及び歳出予算を補正するものでございます。</p> <p>補正の内容であります。令和元年10月18日から令和2年1月15日までに寄附採納がありました3,139件、82,408千円を寄附金として歳入予算の増額補正を行い、歳入予算として増額補正する寄附金額、同額82,408千円全額を奨学基金積立金として歳出予算の増額補正を行うものであります。</p> <p>参考として、奨学基金への寄附採納の状況と今年度の寄附の内訳、令和2年第1回定例会補正後の基金残高を掲載しておりますので、ご覧ください。</p> <p>次に2点目でございますけれども、小学校コンピュータ教室用パソコン等更新事業費でございます。これ以降は、契約の確定等による歳出予算の減額補正となります。</p> <p>補正項目につきましては、歳出につきましては、小学校管理費の備品購入費7,889千円を減額するものでございます。</p> <p>補正理由につきましては、入札執行により契約額が確定し差額が生じたため、関係する歳出予算について補正を行うものでございます。</p> <p>内容でございますが、コンピュータ教室用パソコン等の更新整備の入札執行により契約額が確定し差額が生じたため、歳出予算を減額補正するものでございます。</p> <p>続いて3点目、小学校校務用パソコン等購入事業でございます。こちらは、</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>債務負担行為の補正となります。変更の事項は、小学校校務用パソコン等購入事業限度額を1, 694千円減額し、補正後の80, 612千円に変更するものでございます。</p> <p>補正の理由でございます。入札執行により契約額が確定し差額が生じたため、関係する債務負担行為の限度額について変更をするものでございます。</p> <p>こちら、令和2年度から5年度の4か年で債務負担行為を行っている小学校校務用パソコン等購入事業について、入札執行により契約額が確定し差額が生じたため、債務負担行為の限度額について、減額の変更をするものでございます。</p> <p>次に4点目、小学校改修事業費でございます。</p> <p>補正項目は、イの歳出でございますが、10款2項2目15節の工事請負費12, 419千円を減額し、次にアの歳入でございますが、義務教育施設整備事業債を3, 500千円を減額するものでございます。</p> <p>補正の理由につきましては、工事の完了により契約額が確定し差額が生じたため、関係する歳出及び歳入予算を補正するものでございます。</p> <p>こちらは、学校施設の老朽化で計画的に改修工事を実施して環境改善を図っておりますが、工事の完了により契約額が確定し差額が生じたことにより、歳出予算及び歳入予算を減額補正するものでございます。</p> <p>次に5点目、こちらにつきましても、先ほどの小学校と同様、中学校改修事業費でございますが、イ歳出でございますけれども、工事請負費で5, 707千円の減額がございまして、アの歳入の方で、義務教育施設整備事業債を3, 000千円減額するものでございます。</p> <p>補正の理由につきましては、小学校改修事業費と同様の理由でございます。</p> <p>次に6点目、小学校防音機能復旧事業費でございます。</p> <p>補正項目、イの歳出でございますけれども、こちら工事請負費を16, 906千円減額し、歳入につきましては、上段の教育施設等騒音防止事業教育費補助金を8, 280千円減額し、下段の義務教育施設整備事業債を6, 400千円減額するものでございます。</p> <p>補正の理由につきましては、工事完了により契約額が確定し差額が生じたことから、歳出及び歳入予算の補正をするものでございます。</p> <p>防音機能復旧事業費につきましては、学校施設のボイラー、空調設備につきまして、防衛省の補助を受けて実施したものの経年劣化により改修等の工事の事業でございます。工事の完了により契約額が確定し差額が生じたことから、歳出予算及び歳入予算の減額補正を行うものでございます。</p> <p>7点目につきましては、学校教育課長から説明がございました。</p> <p>続きまして、7 スクールバス運行経費についてご説明します。</p> <p>スクールバスの運行経費につきましても、同様に、入札により契約額が確</p>
---------------	---

	<p>定したため、差額の限度額補正を行おうとするものでございます。</p> <p>内容は、令和2年度における市内5路線のスクールバスの運行経費につきまして、平成31年度予算で債務負担行為の予算を取っておりましたが、入札により、契約額が確定して差額が生じたために、限度額を減額しようとするものであります。以上でございます。</p>
教育長	<p>ただ今、補正予算について説明がありましたけれども、ご質問等がございましたらお願いします。</p>
荒井委員	<p>奨学基金の件ですけれども、今年度、件数、金額ともに急激に増加していますが、その要因は何ですか。</p>
企画総務課長	<p>今回、ふるさと納税の額が莫大に増えておりまして、昨年までの経過で見ますと、ふるさと納税は一般の寄附との割合が、件数で見ますと9割ですが、金額では6割くらいでした。今回補正をします10月から12月までの期間で、件数はこれまで300件程度で推移していたものが、3000件ということで、莫大なふるさと納税が入りまして、これは奨学基金に限ったものでは無く、千歳市へのふるさと納税が今回の補正で14億円ということで聞いておりますけれども、増えたというのが主な要因でございます。</p>
教育長	<p>ふるさと納税は、昨年まで市全体で2億5千万円程度でしたが今年は10億円以上に増えまして、基本的にはインターネットの返礼品サイトを増やしたこと、人気商品の対象期間を拡大したことなどによるものと思われま。</p> <p>ふるさと納税では、用途を指定することとしており、奨学基金に活用を選択していただいてふるさと納税をしていただいたものが、今回のような積立金に充てられることとなります。</p> <p>そのほかにも教育関係を指定していただける選択肢があり、学習支援員の財源などに充当させていただいています。</p>
佐々木委員	<p>そうすると令和2年度の奨学金受給者は多くなるのですか。</p>
教育長	<p>今年度拡充したばかりということもあり、今年度と同額を予算計上しております。この部分はいろいろ議論の余地もありますが、基金の増減に合わせて奨学金の交付額や人数を増減するのが良いのかという部分もありますし、奨学金の性質を考えて一定の所得や成績の基準でやっていくというのがあります。以前は基準に達するのに、交付を受けられなかった方も多くいたのでその部分をどうするかというのはありますが、令和2年度は、同じ基準、同じ人数で実施する予定です。</p>

吉村委員	<p>ふるさと納税が教育目的に充当されるなら、奨学金以外に使用できないのですか。奨学金に使うことは市が決めているのだから、ほかの教育目的で使うということも決めることができるのではないですか。</p>
教育長	<p>ふるさと納税をしていただく際に、寄附者が使途を奨学基金に指定されているので、その使途に充てることになります。</p> <p>奨学金は基金造成をしていますが、その他の事業については、心のふるさと千歳基金に積み立てていて、使途を各部署がそれぞれ挙げていけば切りがないというのもあります。</p> <p>ほかにありませんか。よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは議案第1号については、この内容で決定いたします。</p> <p>続きまして、議案第2号 千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について、説明をお願いします。</p>
委員	<p>一同了承（秘密会：原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、ただ今の内容で決定することといたします。</p> <p>続きまして、議案第3号 千歳市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について、説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>議案第3号 千歳市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について、ご説明いたします。</p> <p>提案理由であります。学校運営協議会委員の任期に関する規定を改め、学校運営協議会の運営の円滑化を図るため、本案を提出するものであります。</p> <p>改正の内容であります。これまで学校運営協議会委員の任期につきましては、「2年」とだけ定めており、委員の追加などを理由として委嘱の時期が異なる委員がいた場合、任期満了後もその委員のみ異なる始期・終期が継続されることとなり、管理上の支障が出ていたところであります。</p> <p>今回の改正により、委員の任期を「委嘱又は任命の日から同日の属する年度の翌年度の末日まで」に変更することにより、任期が統一され、年度中に複数回委嘱事務を行うといった手続きの煩雑さを解消することができるものと考えております。</p> <p>なお、改正後の規則は公布の日から施行することとし、施行の日前にすでに委嘱又は任命されている委員の任期は、決定済みの委嘱期間どおりとなります。</p>

	<p>説明は以上でございます。よろしくご審議、ご決定をいただきますようお願いいたします。</p>
教育長	<p>ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等がございますか。よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、議案第3号については、この内容で決定することといたします。続きまして、議案第4号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について、説明をお願いします。</p>
学校指導課長	<p>議案第4号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、別冊のとおり公表いたします。</p> <p>提案理由であります。令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、本市における調査結果と今後の取組を公表し、地域や保護者への説明責任を果すため、本案を提出するものです。</p> <p>なお、学校ごとの公表については、学校の序列化や学校間の過度な競争が生じる恐れがあること、小規模校では個人が特定されることから、教育委員会としては、学校ごとの公表は行わないこととします。公表時期は令和2年2月を予定しています。</p> <p>では、公表の概要についてご説明いたします。別冊「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要」をご覧ください。</p> <p>調査の概要ですが、本調査は小学校第5学年及び中学校第2学年を対象としています。</p> <p>8種目の実技に関する調査、児童生徒質問紙調査、学校に対する質問紙調査からなるもので、昨年4月から7月末までの間で実施しており、本市は全小中学校が参加しています。</p> <p>結果の要約としまして、実技に関する調査では、小学校女子が全国を上回り、小学校男子・中学校男子・中学校女子についても、全国平均にわずかに届かなかったもののほぼ同様の結果となりました。</p> <p>続きまして、小学校男子の実技検査の結果をまとめております。</p> <p>中段に表がありますが、赤線で囲んでいる行が本市児童の結果です。</p> <p>全国を上回った種目には黄色の網掛け、全国平均と同様の結果のものにはオレンジ色の網掛けをしております。</p> <p>小学校男子については、8種目中5種目で全国を上回っており、総合点では全国をわずかに下回ったもののほぼ同様の結果となっています。</p> <p>一段下に縦の棒グラフがありますが、T得点といます。これは、全国を</p>

50として比較した数値となりますが、経年変化を示しています。シャトルランで昨年度を下回りましたが、課題であった50m走では全国を下回っているものの千歳市の結果は昨年度よりも2ポイント上昇しています。

一番下の帯グラフは体力総合点を5段階で示し、全国や北海道と比較したものになります。Aは運動能力が高い段階、Eはその逆になりますが、本市の帯グラフからはAの段階は増加していますが、B段階は減り、DE段階の児童の割合が増加していることが読み取れます。全国に対しては、Aは多いのですがEも多い状況が読み取れます。

続きまして、小学校女子ですが、握力、上体起こし、反復横飛びの3種目で全国を上回り、長座体前屈・ソフトボール投げが全国と同様であり、体力合計点はT得点で50.3となっており、全国を上回りました。一方、5種目で全国を下回り、特に20mシャトルラン、50mの走力課題が見られます。

次に、中学校男子ですが、握力、上体起こし、反復横とび、ハンドボール投げの4種目で全国を上回り、体力合計点はわずかですが全国を下回りました。反復横とびはなかなか成果に結びつかなかった種目でしたが、前年度を1.4ポイント上回り、全国を上回る結果となりました。依然として持久力、走る能力の向上に課題が見られます。

次に、中学校女子ですが、握力、反復横とび、ハンドボール投げの3種目で全国を上回りました。全国には届いていませんが、全道を7種目で上回り、1種目が同様の結果となっています。男子と同様に、持久力、走る能力の向上に課題が見られます。

次ページからは体格と肥満度に関する調査結果が記載されておりますが、詳しくは後程ご覧ください。

続いて、児童生徒質問紙調査の結果を記載しております。

小中学校ともに、毎日朝食を食べていると回答した割合が、男女ともに全国を下回っている状況が見られます。また、睡眠時間については、男女とも全国を上回っており、良好な状況が見られます。

テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間については、3時間以上と回答した児童生徒の割合が男女とも全国を上回っており、本市の児童生徒はメディアの視聴時間が長時間に及んでいる状況が依然として見られます。

続いて、運動習慣の状況を記載しております。小学校では、平日に運動やスポーツをする時間が男女ともに全国を上回り、1週間の総運動時間も全国を上回っていますが、土日の運動時間が短い状況が読み取れます。中学校については、部活動がない水曜日と土曜日以外の曜日の運動時間は全国を上回り、1週間の総運動時間についても男女とも全国を上回っています。

続いて、小学校で体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の

<p>教育長</p>	<p>割合は男女とも9割を超え、全国を上回っています。中学校では、保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒の割合は男子では全国を上回りました。女子は全国を下回りましたが、「楽しい」と回答した生徒の割合は全国を上回っている状況です。</p> <p>続きまして、学校質問紙の調査結果を掲載しております。「体育の授業で目標を示す活動を取り入れている」の質問に対して「いつも取り入れている」「だいたい取り入れている」と回答した学校が100%であり、児童生徒質問紙の回答結果とも大きな差が見られないことから体育の授業においても課題の提示については定着している状況が読み取れます。一方で、「授業における振り返りの活動」については、児童質問紙と学校質問紙の結果が異なっていて、小学校では特に児童と学校の意識の差が見られます。</p> <p>最後に、本市の学校教育基本計画を踏まえた児童生徒の体力・運動能力の向上に関わる今後の取組について、6点にわたって記載しています。特に「2 体育・保健体育の授業の改善」では、今後も運動習慣の定着に向けて「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答する児童生徒の割合を増やすとともに、「目標を示す」「1時間の授業を振り返る活動」を取り入れ、「楽しい体育の授業」「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業」を改善の視点として取組を進めていきたいと考えています。</p> <p>「3 中学校区の共通課題の解決を目指す取組の推進」では、「小中連携・一貫教育」調査研究事業と関連して、中学校の体育教員が走り方やボールの投げ方を指導する出前講座や新体力テストの合同実施などを通して特定の実技種目の伸びが見られました。</p> <p>「4 新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業」の成果の普及については、本年度は千歳第二小・向陽台小・青葉中の3校を実践校として指定して実施方法の改善に取り組んできました。3校では、管理職・担当者を中心に組織的に環境整備や指導、測定にあたり、前年度結果を上回り、全国を上回る結果となっています。今後も実践事業は継続し、優れた実践の普及を図るとともに、指定校は指定期間後も成果を継承し、継続して児童生徒の体力向上を図ることができるよう支援していきたいと考えます。</p> <p>「6 望ましい生活習慣や運動習慣の形成」では、「朝食の摂取」や「テレビ・ゲーム・スマートフォンの使用時間」に依然として課題が見られることから、学校・家庭・千歳市PTA連合会、千歳市教育委員会が連携を図り、「千歳市家庭生活宣言」の普及促進を進めることが必要です。</p> <p>以上、第4号議案について説明しました。本調査結果の公表につきまして、ご審議のほどよろしく申し上げます。</p> <p>ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p>
------------	--

佐々木委員	運動能力の結果で50m走の数値が出ていますが、例えば10年前や20年前の子どもたちと比べてどうなのでしょう。
学校指導課長	千歳市の統計データは無いのですが、一般的には下がってきていると言われています。
佐々木委員	例えば小学校の男子と中学校の男子を比べると1.5秒くらいしか変わらない。女子の場合は0.5秒しか変わらない。かなり体力が落ちているのではないかという気がするのですが、例えば体育の授業で、早く走らせようとか、より良くジャンプをさせようというような指導をしているのでしょうか。
学校指導課長	そうですね。体力調査にかかわらずですけども、この調査も一つのきっかけとして、自己記録を超えるというような取組というのは、学校でなされていて、さらに少しでも自分の記録を伸ばすという意味では、一度予備調査を春にやっておいて、もう1回自分の記録を超えるような、体育祭や運動会などの練習が明けた後にこの調査を行うなど、少しでも子どもたちが自分の結果が伸びた喜びを体感できるような取組というのは、学校で工夫してくれていると思います。
吉村委員	実践校3校で結果が出たのは良かったと思います。 学校ごとの個別の結果は公表しないということですが、各学校には個別の結果を示しているのですよね。要するに、結果が良い学校があるのに市では全国を下回るというのは、低い学校があるということですので、そうした学校には意識をしてもらって、指導や工夫をしてもらいたいと思います。
教育長	校長会でも、教育委員会からは全体としての結果しか公表しませんが、それぞれの学校では自校の結果がいきますし、保護者も含めて説明ができる状態にしてくださいとしています。
橋場委員	スマートフォンの使用時間に課題があるということでしたが、どこかの自治体が条例で子どものスマホ利用を制限するというような記事を見たのですが、そういうのは千歳市や近隣で検討しているところはあるのでしょうか。
教育長	少なくとも道内や近隣ではそのような話は聞いたことはありません。 条例で対応というのは一つの手法ではあると思いますが、そのためには根拠とか、それを改善しなければならない状態になっていて、深刻というか、課題が顕在化している状態になっていれば、条例を検討するという事もあると思います。条例にも幅がありますので、それぞれの考え方によるところ

委員	<p>もあると思います。</p> <p>課題があるのは間違いないですので、我々も当然ですが、家庭や地域でも取り組んでいただけたらと思います。</p> <p>あとは、よろしいですか。</p> <p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、この内容で公表するということで決定いたします。</p> <p>続きまして、日程5 報告に入ります。</p> <p>報告第1号 令和元年度千歳市学力向上検討委員会の取組について、説明をお願いします。</p>
学校指導課長	<p>報告第1号 令和元年度千歳市学力向上検討委員会の取組について、別冊のとおりご報告いたします。</p> <p>報告書をご覧ください。本報告書は、昨年12月24日に千歳市学力向上検討委員会委員長である桜木小学校 松浦宣仁校長から教育長に提出されたものです。</p> <p>第1章ですが、学力向上に向けた基本的な考え方と取組の経過についてになります。学力についての基本的な考え方についてですが、千歳市学力向上検討委員会では、次期学習指導要領の全面実施を控え、新しい学習指導要領に示された資質・能力である「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」を確実に身に付けさせることを目標とし、その達成状況を全国学力・学習状況調査により検証するとしています。</p> <p>「学校・家庭・教育委員会への提言」については、提言が学校で確実に実行され、定着するためには、長いスパンで取り組む必要があること、また、「千歳市学校教育基本計画」が令和2年度で完結することもあり、昨年度からの3年間をスパンとして提言を設定しまして、計画的に各学校の進捗状況を評価しています。</p> <p>「学校への提言」は「ハイパーQ U検査を活用した学年・学級経営の充実」など5つ、「家庭への提言」として「千歳市家庭生活宣言」運動の普及など2つ、「教育委員会への提言」として「ICT機器の整備と活用」など4つ、合わせて11の提言をしています。</p> <p>「5. 本年度の重点的な取組」をご覧ください。本年度指定を受けた桜木小・祝梅小・千歳中のモデル校3校は、学校改善プランに本検討委員会の提言を位置づけ、実態を踏まえた取組を展開してきました。指定期間が2年間であり、成果検証を令和2年の全国学力・学習状況調査と標準学力検査としていることから、本年度の報告書には「学校改善プランの検証サイクルの確実な運用」と「学習指導の改善」について各校の特色ある取組が述べられて</p>

います。本日は3校の取組の具体を中心に説明します。

「1. 学校改善プランの検証改善サイクルの確実な運用」についてですが、ア. の桜木小学校の取組では、国立教育政策研究所が作成した解説資料の解答類型に基づき、自校の児童の具体的な数値から課題を明確化して授業改善の視点を導いています。

イ. の祝梅小学校では、校内学力向上検討委員会が中心となり、学校改善プランに具体的な数値目標を掲げた上位目標を設定し、下位目標には授業改善・学習規律・学校経営について具体的な目安を示し、6つの改善方策と担当、進行計画を明確にして実践に取り組んでいます。

ウ. の千歳中学校では、全国学力・学習状況調査や標準学力検査、ハイパーQU検査等のデータを基に、いつ、誰が、何をするのかを明らかにして、徹底した可視化に取り組み、学校改善プランをすべての教員が自分事として捉える仕組みを作っています。

続いて、「2. 学習指導の改善」です。授業改善の取組についてですが、ア. の桜木小学校では、本時のゴールから見通しをもって学習を進めることができるように準備をして授業に臨むことを大切にしています。「板書型指導案を活用した授業改善の取組」を進めています。「この1時間で何を身に付けさせるか」を明確にした板書型指導案は日々の授業記録として保存され、授業の自己評価にも役立っています。

イ. の祝梅小学校では、「わかる・楽しい授業」への改善を図るため、国語・算数で「読解力」「発信力」「自発性・主体性・協働性」の3点で改善内容を整理し、学校全体で重点的な取組を進めています。

ウ. の千歳中学校では、各学級の諸検査の学力データ、授業評価アンケート結果の分析により、生徒の実態と授業のねらいをマッチングさせた授業の実践や端的な説明により演習量を増やすなど、テンポの良い授業展開を奨励して改善に取り組んでいます。

本年度の重点取組事項である「(2) 学習規律の徹底」についてです。

ア. の桜木小学校では、「学習規律の定着状況」を振り返りシートを用いてチェックし「慣れや見過ごし」「意識の低下」を防ぐ取組が進められています。

イ. の祝梅小学校では、どの学年・どの学級でも統一した指導ができるよう「祝梅小をととのえる」を作成し、立腰、話し方、聞き方等の学習規律と教室環境の状況について年4回の点検・評価を行うことで、子ども一人一人の「ととのえる」意識を高めるとともに、課題を明確にして改善に取り組んでいます。

ウ. の千歳中学校では、年3回実施する授業評価アンケートを活用して、指導が立ち行かない教科やその傾向にある教科が学級ごとにわかる仕組みを構築して、学習規律遵守の意識を高めるとともに、危うい状況に対して早期に対応できる体制を整えています。

続いて、(3) 学習習慣の確立についてです。

ア. の桜木小学校では、主体的に学ぶ意欲や態度を育てることを狙って、「プリント学習」主体の学習から、「ノート学習」主体の学習へ家庭学習の方法の改善に取り組んでいます。

イ. の祝梅小学校では、学習範囲を確認しながら計画的に家庭学習に取り組み、「積み上げて学ぶ」「中学生の学び方を知る」経験を通して学習意欲の向上をねらい、中学校と連携して高学年に定期テストを導入しています。

ウ. の千歳中学校は、保護者がわが子の生活習慣を身に付けさせるためのツールとして、PTAとの連携により、スケジュール管理の手帳を作成して、自己管理能力の育成や家庭学習習慣確立に保護者の協力を得る具体的な手立てを講じています。

以降は「平成31年度全国学力・学習状況調査結果の分析・考察」になりますが、昨年8月28日開催の教育委員会会議において報告した内容ですので、本日は説明を省かせていただきます。

続きまして、第3章になりますが、学校・家庭・教育委員会への提言に対する取組状況アンケートの結果分析を通して、本市の学力向上における課題を整理しています。

学校への提言に対する検証についてですが、提言1「ハイパーQ.U.検査を活用した学年・学級経営の充実」では、小中学校ともに、「結果分析の共有」「分析結果を踏まえた取組」を組織的に進めている学校が増加しており、本年度の重点取組事項である「学習規律の定着100%」「指導の立ち行かない学級0」が浸透していることや研修会の開催により理解が深まっているものと捉えています。

提言5「習熟度別少人数指導の充実」の問19の「習熟度別少人数指導の実施体制・実施方法の工夫」では、道教委が配置している指導方法工夫改善のための教員加配及び本市独自に配置している学習支援員を活用した算数・数学の授業が定着しつつあり、中学校においても積極的に活用している学校が増加している状況が見られます。

そのほかの提言についても、おおむね肯定的な回答が増加しています。

家庭の取組状況については、千歳市家庭生活宣言の普及、特に生活リズムの定着と読書についての課題、家庭学習の習慣づくりの状況について述べています。

続いて、4章の成果の検証と今後の取組になります。

千歳市学力向上検討委員会は、児童生徒の学力向上に向け、「小中9年間の積み上げ」と「学校・家庭・教育委員会の連携協力」を基本に取組を進めています。

表1は、同一集団である小学6年生・中学3年生での全国学力・学習状況調査の推移を示しています。平成31年度の数学は6年生に比べて差が広が

	<p>っていますが、平成31年度以外は国語・算数のいずれも中学3年の結果は小学6年生に比べて全国との差が縮まっており、小学校段階の力を中学校で伸ばしている状況が見られます。</p> <p>小中9年間の積み上げについては、小中連携・一貫教育調査研究モデル校区指定事業において、全国学力・学習状況調査等の結果交流から、課題のある領域を明確にして、9年間の一貫したカリキュラム作成にも意欲的に取り組んでいる事例も報告されており、小中が連携して児童生徒の学力向上につながることを期待されます。</p> <p>また、学校・家庭・教育委員会については、「千歳市家庭生活宣言」の普及が進んでいる一方で、「ちとせ統一ルール」に取り組む割合は半数ほどとの結果も見られることから、今後も三者が連携し、望ましい生活習慣・学習習慣を身に付けることができるよう努めていく必要があります。</p> <p>終わりになりますが、学力向上検討委員会 松浦委員長からは、学習支援員を活用した習熟度別少人数指導、デジタル教科書を含むICT機器の活用、ハイパーQU検査の全学年実施など、学習環境の整備充実に各学校ではたいへん感謝しており、積極的に活用するとともに、学校改善プランを組織的・計画的に遂行し、確実に成果をあげられるよう努力いたします、との言葉がありました。</p> <p>本報告書を千歳市のホームページ上への掲載、学校指導室による学校訪問、校長会議及び教頭会議での継続的な説明を通して、次年度以降の学校経営、学校運営に役立てていきたいと考えております。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>
教育長	ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
荒井委員	千歳中学校のマイゴール手帳というのは継続して行う予定ですか。
学校指導課長	行う予定と聞いております。これは、もともと家庭生活宣言の取組からPTAの取組ということで始まっています。
荒井委員	祝梅小学校の定期テストは興味深い取組だと思いますが、これも継続して取り組む予定ですか。
学校指導課長	継続して取り組む予定です。2月にまた2回目の定期テストを実施予定です。計画作りもしたことが無いので、中学校で定期テストに向けて学習計画を作ったりしますが、青葉中学校の教頭先生が行って小学生に指導して、定期テストの受け方についてガイダンスをして、そのうえで試験を行っています。小中連携の取組と合わせて取組を進めてきたと聞いています。

教育長	あとはよろしいですか。
委員	一同了承（報告済）
教育長	それでは、報告第1号については、報告済みといたします。 これもちまして、本日の教育委員会会議を終了します。お疲れ様でした。